

日中対照言語学会会報 (No.40)

2017年6月17日(土)発行

会報担当：続三義

加藤晴子

目次

1. 5月常務理事会拡大会議(2017年5月28日)議事録
 2. 日中対照言語学会第37回大会(2017年度春季大会)開催
 3. 2017年度会員総会
資料
 - ① 会則の改訂箇所の新旧対照
 - ② 編集委員会規程
 - ③ 新顧問・新常務理事、新理事
 - ④ 新役員名簿
 - ⑤ 2016年度決算表
 - ⑥ 2017年度予算表
 4. 2017年度冬季大会の開催に関する事項
 5. 月例会(2017年4月)
- ※ 事務局より

1. 5月常務理事会拡大会議(2017年5月28日)議事録

日時: 2017年5月28日(日) 12:30~13:20

場所: 大東文化会館1階ホール

出席者: 続三義、王学群、高橋弥守彦、豊嶋裕子、安本真弓、竹中佐英子、竹島毅、平山邦彦、白銀志栄、橋本幸枝、白石裕一、石井宏明(敬称略)

[審議事項]

① 会則の改定

日本学術会議協力学術研究団体加入申請のため、学会として編集委員会の成文化が必要になる。これまで、学会の学会誌の編集、特集号の編輯のため、常務理事会で代行してきた経緯があるが、編集委員会という専門機構が必要であることも疑いない。よって、関係条項を入れ、学会の会則を改定する必要がある(会則改定の箇所は資料①を参照)。この件に関し、続理事長より報告があり、常務理事会で承認を受け、会員総会にかけることとなった。

② 編集委員会規程

上記①の会則改訂に伴い、学会に編集委員会を設立することになる。それ相応の編集委員会規程が作成され、常務理事会で承認を受け、会員総会にかけることとなった。並びに、編集委員長は、学会理事長が兼任することが了承された。

③ 2016年度決算報告

白石会計係から2016年度決算報告案が報告され、常務理事会で承認を受け、会員総会にかけることとなった。また、本年度より会計監査の署名欄に会計監査担当の住所を記入しないことが提案され、了承された。

④ 2017年度予算案

白石会計係から2017年度予算案が報告され、常務理事会で承認を受け、会員総会にかけることとなった。

⑤ 2017年度冬季大会

開催日は12月24日、会場は例年通り大阪産業大学梅田サテライトであり、発表者募集は例年通り（審議事項4の資料を参照）に行うことが統理事長より報告され、了承された。

⑥ 会報送付

竹島常務理事より、今後会報をメールで送付するため、「アドレス確認のお願い」と題する文書を会員に送付することが提案された。複数の理事より、アドレスの届がない会員、或いは郵送での送付を希望する会員については、郵便費用の値上がりもあり、会費の他に500円もらいうけることが提案され、了承された。

⑦ 北京支部の解散

これまで、中国で活動をしてきた学会の北京支部より解散との連絡があり、北京支部の事情を受け入れ、それを承認するということが統理事長より報告され、了承された。

⑧ 他機関とのイベント共催

統理事長より、今後、他の教育・研究機関などとのイベントの共催が予想されることから、そのオファーを積極的に受け入れることが提案され、了承された。

【報告事項】

① 学会誌19号の出版

安本常務理事より、学会誌の出版に関する報告があり、査読に当たり関係者により細心な配慮が施され、質の高い論文が保証できた。

② 日本学術会議協力学術研究団体加入申請

王学群学会事務局より会則の改定、編集委員会規程等の基礎固めができていることから、これから申請の最終段階に入るとの報告があった。

③ 月例会について

高橋常務理事から、学会の月例会の会員の出席状況は必ずしも盛況とは言えないことから、理事はもっと積極的に月例会に参加することが望ましいとの意見が出された。

2. 日中対照言語学会第37回大会（2017年度春季大会）開催

2017年5月28日（日）午前9時20分～午後5時00分、第37回大会（2017年度春季大会）が大東文化大学で開催され、全国からきた会員と講演者を含む50人ほどが参加した。東方書店、白帝社も出店をした。大東文化大学外国語学部大島吉郎学部長が開催校を代表して挨拶され、学会の年次大会の当校での開催に心から歓迎の意を表され、そのうえで大東文化大学の歴史とグローバル化に向けて進めている様々な取り組みを紹介され、大会開催の成功を祈られた。大会は、開会の挨拶は元々、学会の于康副理事長がする予定だったが、事情で来られないということで、関西の代表として張黎常務理事（大阪産業大学）が代わりにし、ほかのプログラムがほぼ順調に進められた。

3. 2017 年度会員総会

2017 年度学会の春季大会終了後、2017 年度会員総会が開催された。議事に先立ち、石井宏明氏が議長に選出された。総会のプログラムは次の通りである。

[報告事項]

- ① 学会誌 19 号の出版
- ② 日本学術会議協力学術研究団体加入申請
- ③ 月例会について

[審議事項]

- ① 会則の改定
- ② 編集委員会規程
- ③ 2016 年度会計報告
- ④ 2017 年度予算
- ⑤ 顧問推薦：大東文化大学名誉教授、前日中対照言語学会理事長、高橋弥守彦教授
- ⑥ 常務理事推薦：名古屋大学教授、丸尾誠理事
- ⑦ 理事推薦：1) 中央大学等非常勤講師、元会計係、椿正美会員、2) 大阪産業大学等非常勤講師、岡原嗣春会員、3) 名古屋大学准教授、勝川裕子会員
- ⑧ 2017 年度冬季大会、12 月 24 日（日）に大阪産業大学梅田サテライトで開催、後日発表原稿を募る
- ⑨ 会報送付の方式の変更
- ⑩ 北京支部の解散
- ⑪ 他の教育・研究機関などとのイベント共催
- ⑫ その他

会員総会にて、出席者の協力により、報告事項、審議事項の諸事項は順調に報告され、審議された。

資料

- ① 会則の改訂箇所の新旧対照

新	旧
第 13 条 役員の任期 1. 理事長の任期は 2 年間とし、再任は 1 回までとする。 2. 理事の任期は特に定めないが、会員としての資格を失った場合は解任されるものとする。	第 13 条 役員の任期 1. 理事長の任期は 2 年間とし、再任は 1 回までとする。 2. 理事の任期は特に定めないが、会員としての資格を失った場合は解任されるものとする。
第 14 条 編集委員会 1. 本学会に、編集委員会を置く。 2. 編集委員会規程に関しては、別に之を定める。	
第 15 条 経費および年会費	

<p>1. 本学会の経費は会費、寄付金および事業による収入を以て当てる。</p> <p>2. 年会費の金額は内規により定める。</p> <p>第16条 会計年度</p> <p>本学会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日をもって終わる。</p> <p>第17条 会則の改訂</p> <p>本会則は、定期総会での審議と承認を経て改訂することができる。</p> <p>附則</p> <p>1. 本会則は2002年6月2日より施行する。</p> <p>2. 2005年6月5日改訂</p> <p>3. 2010年6月16日改訂</p> <p>4. 2015年6月20日改訂</p> <p>5. 2017年5月28日改訂</p>	<p>第14条 経費および年会費</p> <p>1. 本学会の経費は会費、寄付金および事業による収入を以て当てる。</p> <p>2. 年会費の金額は内規により定める。</p> <p>第15条 会計年度</p> <p>本学会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日をもって終わる。</p> <p>第16条 会則の改訂</p> <p>本会則は、定期総会での審議と承認を経て改訂することができる。</p> <p>附則</p> <p>1. 本会則は2002年6月2日より施行する。</p> <p>2. 2005年6月5日改訂</p> <p>3. 2010年6月16日改訂</p> <p>4. 2015年6月20日改訂</p>
--	--

② 編集委員会規程

<p>日中対照言語学会 編集委員会規程</p>
<p>第1条 名称</p> <p>本会は、日中対照言語学会編集委員会（以下「編集委員会」）とする。</p> <p>第2条 目的</p> <p>本会は、日中対照言語学会会則（以下、「会則」）第4条3号による学会誌の編集および発行に関する審議を行う。</p> <p>第3条 委員会</p> <p>会則第14条に基づいて編集委員会を置く。編集委員会は、理事からの推薦をもとに、理事会の議を経て理事長によって委嘱された委員から構成される。</p> <p>1 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。</p> <p>2 委員会には互選によって委員長を置く。</p> <p>3 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。</p> <p>第4条 活動事項</p> <p>本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。</p> <p>1 『日中言語対照研究論集』の編集方針の決定</p> <p>2 『日中言語対照研究論集』における投稿論文等の掲載の可否の判断</p> <p>3 編集委員長の選出</p> <p>4 査読委員長及び査読者の選定</p>

5 編集委員会規程および申し合せ事項の改定案の作成と理事会への報告

6 その他

第5条 査読

- 1 本会は、提出された論文等に関して査読を行う。
- 2 論文等において人権を侵すことにつながる研究の引用や表現は修正を求める。
- 3 その他、編集委員会が不相当と認めた内容については、修正を求める。

第6条 著作権の帰属

本誌に掲載された論文等の著作権は日中言語対照研究論集に帰属する。ただし、著者個人およびその所属組織の Web サイト等における本誌掲載論文の公表は、これを妨げない。

第7条 所在地

学会誌の編集事務は、本学会事務局において行う。

第8条 会計

本会の編集および出版に関わる会計は、本学会事務局において処理し、理事会及び総会の承認を求めるものとする。

附則

- 1 この規定は 2017年 5月 28日より施行する。

③ 新顧問・新常務理事、新理事

(2017年5月28日会員総会にて承認、敬称略)

顧問：高橋弥守彦

新常務理事：丸尾誠

新理事：椿正美、岡原嗣春、勝川裕子

④ 新役員名簿

日中対照言語学会役員名簿 (2017年6月から)

顧問

荒屋勸、今富正巳、窪田富男、佐藤富士雄、史有為、鈴木康之、高木一彦、高橋弥守彦、横川伸

特別名誉会員

北林光

理事長

続三義

副理事長

関東地区：加藤晴子

関西地区：于康

常務理事 (計18名) (五十音順)

関東地区：王亜新、王学群、加藤晴子、上地宏一、時衛国、続三義、竹島毅、趙昕、豊嶋裕子、平山邦彦、丸尾誠、山口直人、安本真弓 (13名)

関西地区：于康、下地早智子、張黎、彭飛、余維 (5名)

一般理事（常務理事を含まない）（計 21 名）（五十音順）

関東地区：相原茂、石井宏明、勝川裕子、呉川、康鴻音、朱継征、白銀志栄、竹中佐英子、椿正美、藤田昌志、森山美紀子、安井二美子、山田留里子、劉勳寧、魯曉琨（計 15 名）

関西地区：王慶、岡原嗣春、岡本俊裕、戦慶勝、原由起子、苗茨（計 6 名）

会計：白石裕一

監査：石井宏明、橋本幸枝

事務局長：王学群

編集委員長：続三義

学会誌査読委員長：平山邦彦

⑤ 2016 年度決算表

日中対照言語学会2017年総会会計報告

1) 2016年度収支決算

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	1,108,962	1,108,962	0	学会誌制作費	150,000	150,000	0
				学会誌編集費	40,000	40,000	0
				学会誌特集号制作費	50,000	50,000	0
年会費							
一般会員	480,000	478,990	-1,010	ホームページ管理費	20,000	18,100	1,900
院生会員	60,000	91,530	31,530	通信費	100,000	91,348	8,652
中国会員	50,000	0	-50,000	事務管理費	20,000	6,615	13,385
大会参加費				大会開催費			
5月大会	45,000	43,000	-2,000	5月大会	55,000	38,138	16,862
12月大会	45,000	61,000	16,000	12月大会	55,000	59,528	-4,528
				講演費	20,000	30,000	-10,000
				常務理事会交通費	40,000	30,500	9,500
				会計担当手当	20,000	20,000	0
				発送作業手当	20,000	20,000	0
				査読手当	10,000	10,000	0
				会計担当大阪大会交通費	30,000	30,000	0
				予備費	50,000	0	50,000
				小計	680,000	594,229	85,771
				次年度繰越金	1,108,962	1,189,253	80,291
収入合計	1,788,962	1,783,482	-5,480	支出合計	1,788,962	1,783,482	5,480

監査報告

監査の結果、2016年度決算報告は適正であることを認めます。

2017年5月10日

監査 石井 宏明 

監査 橋本 幸枝 

⑥ 2017 年度予算表

2)2017年度予算(案)

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	1,189,253	学会誌制作費	150,000
		学会誌編集費	40,000
		学会誌特集号制作費	50,000
年会費			
一般会員	480,000	ホームページ管理費	20,000
院生会員	60,000	通信費	100,000
		事務管理費	20,000
大会参加費		大会開催費	
5月大会 1000円×45人	45,000	5月大会	55,000
12月大会 1000円×45人	45,000	12月大会	55,000
		講演費	20,000
		常務理事会交通費	40,000
		会計担当手当	20,000
		発送作業手当	20,000
		査読手当	10,000
		会計担当大阪大会交通費	30,000
		次年度繰越金	1,189,253
合 計	1,819,253	合 計	1,819,253

4. 2017 年度冬季大会の開催に関する事項

日中対照言語学会第 38 回冬季大会研究発表の募集

2017 年度冬季大会は 12 月 24 日（日）、大阪産業大学梅田サテライトで開催されます。研究発表を希望される研究者・院生の皆様は 2017 年 9 月 30 日（金）までにテーマと要旨（500 字前後）を続三義（xu_sanyi@toyo.jp）、王学群（ohgakubun@toyo.jp）のいずれかまでお申し込みください。

5. 月例会 (2017 年 4 月)

日 時：2017 年 4 月 22 日 (土)

場 所：東洋大学 2 号館 9 階・経済学部会議室

発表者：続三議 (東洋大学)

テーマ：日中翻訳——『天声人語』(1992.1.27) の中国語訳を例に

要 旨：朝日新聞の『天声人語』は日本語学習者には人気がある。中国語版もできている。しかし中国語訳には少し問題がある。この文では、『天声人語』(1992.1.27) を例に、まず文脈から主語の問題を分析し、それから、一部の語彙の意味を分析し、その後、言語の意味のポテンシャル性・リアル性、そして、個別性・一般性の問題について論究する主語の問題に関しては、たとえば、「授業が始まると、好きなどころに集まるようにと先生が言う。驚いた。」の中国語訳 “上课开始时,老师说你(指日本学生)喜欢什么运动就到什么地方集合。他吃了一惊。” における“你”と“他”、「慣れたら楽しくなった」と“(日本学生)习惯了之后,觉得很有趣”の中の“(日本学生)”の問題などについて分析を加える。語彙の問題に関しては、「楽しくなった」と“觉得很有趣”、「相談した」と“征求意见”、「何にでも挑戦できる」と“可以迎接任何挑战”、「一生やれそうな」と“一生中喜欢的”、「画一的」と“一成不变”などを扱う。そして、ポテンシャル性・リアル性、個別性・一般性の問題に関しては、「知り合えた」と“能认识”、「覚えましたが」と“可以学到”、「不得手なものがあるがよい」と“不擅长没关系”、「バーレーンでの着衣のままの水泳練習」と“在巴林,练习游泳都是穿着衣服”などを分析する。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申し込みができない場合は、王学群事務局長 (ohgakubun@toyo.jp)、または竹島毅常務理事 (sisi@kkd.biglobe.ne.jp) までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお問い合わせ申し上げます。
- 3) 年間会費の納入につきましては、大会開催時に受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いたします。
- 4) 次号学会誌の原稿の締め切りは、例年通り 9 月末日とします。

